

第81回奈良CBC練習会ハンド

2013-10-17

<p>No. 1</p> <p>♠ QJ9 ♥ Q96 ♦ K75 ♣ 8653</p> <p>♠ 5 ♥ K108542 ♦ 108643 ♣ 4</p> <p>♠ 10643 ♥ AJ ♦ 9 ♣ AKJ972</p> <p>♠ AK872 ♥ 73 ♦ AQJ2 ♣ Q10</p>	<p>No. 2</p> <p>♠ 10743 ♥ 10 ♦ 843 ♣ A10983</p> <p>♠ AKJ82 ♥ 9863 ♦ A65 ♣ 4</p> <p>♠ 9 ♥ AKQJ7 ♦ KJ2 ♣ K762</p> <p>♠ Q65 ♥ 542 ♦ Q1097 ♣ QJ5</p>	<p>No. 3</p> <p>♠ A10864 ♥ 93 ♦ 86 ♣ Q854</p> <p>♠ K2 ♥ QJ1042 ♦ AJ107 ♣ A7</p> <p>♠ QJ973 ♥ K87 ♦ 43 ♣ KJ10</p> <p>♠ 5 ♥ A65 ♦ KQ952 ♣ 9632</p>	<p>No. 4</p> <p>♠ K6 ♥ AJ ♦ 9632 ♣ A9862</p> <p>♠ J97 ♥ K754 ♦ J104 ♣ 1074</p> <p>♠ A10842 ♥ Q83 ♦ KQ7 ♣ Q5</p> <p>♠ Q53 ♥ 10962 ♦ A85 ♣ KJ3</p>	<p>No. 5</p> <p>♠ 8 ♥ KJ8752 ♦ K8 ♣ K764</p> <p>♠ AK106 ♥ 106 ♦ A542 ♣ A102</p> <p>♠ 97432 ♥ 94 ♦ 73 ♣ QJ85</p> <p>♠ QJ5 ♥ AQ3 ♦ QJ1096 ♣ 93</p>
<p>No. 6</p> <p>♠ J9532 ♥ 52 ♦ J1084 ♣ J6</p> <p>♠ 864 ♥ K109 ♦ AQ72 ♣ Q82</p> <p>♠ AQ ♥ AQJ873 ♦ 965 ♣ 104</p> <p>♠ K107 ♥ 64 ♦ K3 ♣ AK9753</p>	<p>No. 7</p> <p>♠ AKQ873 ♥ A1093 ♦ J ♣ 108</p> <p>♠ 62 ♥ K84 ♦ Q1087 ♣ J5</p> <p>♠ J1095 ♥ J2 ♦ AK93 ♣ K73</p> <p>♠ 4 ♥ Q765 ♦ 52 ♣ AQ9642</p>	<p>No. 8</p> <p>♠ 972 ♥ J9 ♦ 107642 ♣ K98</p> <p>♠ Q1084 ♥ Q1054 ♦ 5 ♣ QJ102</p> <p>♠ — ♥ K87632 ♦ AK983 ♣ 63</p> <p>♠ AKJ653 ♥ A ♦ QJ ♣ A754</p>	<p>No. 9</p> <p>♠ 9542 ♥ 87 ♦ QJ987 ♣ 65</p> <p>♠ Q ♥ KJ96 ♦ AK62 ♣ 10872</p> <p>♠ AK76 ♥ A1032 ♦ — ♣ AQJ94</p> <p>♠ J1083 ♥ Q54 ♦ 10543 ♣ K3</p>	<p>No. 10</p> <p>♠ 109873 ♥ QJ8 ♦ 62 ♣ KJ3</p> <p>♠ J4 ♥ A97 ♦ J974 ♣ Q876</p> <p>♠ KQ2 ♥ K1053 ♦ AK53 ♣ A9</p> <p>♠ A65 ♥ 642 ♦ Q108 ♣ 10542</p>
<p>No. 11</p> <p>♠ J96 ♥ — ♦ Q62 ♣ K1097632</p> <p>♠ 103 ♥ K1095 ♦ AJ753 ♣ Q5</p> <p>♠ A82 ♥ J8632 ♦ 984 ♣ A4</p> <p>♠ KQ754 ♥ AQ74 ♦ K10 ♣ J8</p>	<p>No. 12</p> <p>♠ 10 ♥ Q108 ♦ K109764 ♣ A65</p> <p>♠ A86432 ♥ 6 ♦ 53 ♣ KJ82</p> <p>♠ K95 ♥ K532 ♦ Q82 ♣ Q104</p> <p>♠ QJ7 ♥ AJ974 ♦ AJ ♣ 973</p>	<p>No. 13</p> <p>♠ KJ106 ♥ KJ53 ♦ 106 ♣ 1073</p> <p>♠ AQ843 ♥ 8 ♦ AKJ9 ♣ J65</p> <p>♠ 75 ♥ Q97 ♦ Q85 ♣ AKQ82</p> <p>♠ 92 ♥ A10642 ♦ 7432 ♣ 94</p>	<p>No. 14</p> <p>♠ 43 ♥ KJ74 ♦ 64 ♣ A9654</p> <p>♠ J9865 ♥ AQ985 ♦ J7 ♣ 8</p> <p>♠ K107 ♥ 103 ♦ K10985 ♣ Q73</p> <p>♠ AQ2 ♥ 62 ♦ AQ32 ♣ KJ102</p>	<p>No. 15</p> <p>♠ KQ10973 ♥ 92 ♦ 7 ♣ A1085</p> <p>♠ — ♥ AJ10853 ♦ QJ62 ♣ K43</p> <p>♠ AJ4 ♥ KQ74 ♦ AK84 ♣ J2</p> <p>♠ 8652 ♥ 6 ♦ 10953 ♣ Q976</p>

☆ ビッド・プレーに関するコメント (色々と独断や間違いがあると思いますので参考程度に留めて下さい)

No. 1

♠ 5	♠ 10643
♥ K108542	♥ AJ
♦ 108643	♦ 9
♣ 4	♣ AKJ972

N			
W	X	E	
S			

♠ AK872	♠ 10643
♥ 73	♥ AJ
♦ AQJ2	♦ 9
♣ Q10	♣ AKJ972

N	E	S	W
P	1♣	X	1♥
X	2♣	2♠	P
3♠	P	P(4♠)	end

N	E	S	W
P	1♣	X	P
1NT	2♣	2♠	P
3♠	P	P(4♠)	end

Eの1♠に対してSは16hcpあるので、1♠のOCを掛ける(右)よりも、♥が短いがテイクアウトダブル(左)を掛ける人が多いと考える。
SのダブルにWは弱いハンドであり、パスが普通だが、♥が6枚あるので1♥をビッドする人もある(これは普通はForcingなので2♣をパスするか最悪2♥までビッドすることを覚悟)。Wが1♥をビッドした時にNは如何するか。

N	E	S	W
P	1♣	1♠	P
2♠	P	3♠	P
4♠			end

パス、1NT、ダブル(Responsive Double: レスポンス出来る強さがあるが、ビッドすべき4枚スーツがないことを示す)が考えられるが、ダブルを掛けるのが普通かも。SのダブルにWがパスした時にはNは1NTをビッドする(1♦もあり得る?)。このハンドは何れにしても3~4♠まで上がる。
4♠/S OL: ♣4 Eは♣K♠Aを勝ち♣Jを続ける。Declarerはオーバーラフを避けるため、♠Aでラフする。Declarerで考えると♠♦で9個勝てるが♥の2ルーザーは如何することも出来ない。♠Q♠Jを勝つと、Wがショウアウトするが♠9を引きEが♠10をカプセなければこれが勝つので、♦Aでハンドに戻り、♠Kで♠10を刈りきり、♦を勝って1ダウンになる。Sがダブルの時は3♠で止まる可能性はあるが、Sが1♠でOCした時は大抵4♠まで上がりそうである。

No. 2

♠ 10743	♠ 9
♥ 10	♥ AKQJ7
♦ 843	♦ KJ2
♣ A10983	♣ K762

N			
W		E	
S			

♠ AKJ82	♠ 9
♥ 9863	♥ AKQJ7
♦ A65	♦ KJ2
♣ 4	♣ K762

♠ Q65	♠ 9
♥ 542	♥ AKQJ7
♦ Q1097	♦ KJ2
♣ QJ5	♣ K762

N	E	S	W
	1♥	P	1♠
P	2♣	P	4♥
P	4NT	P	5♥
P	6♥		end

スラムに行くか行かないか、ビッドの難しいハンドである。
Eの1♥にWは4枚サポートがあり、4♥は確実と考えながら♠が強い5枚なので、1♠のレスポンスをする。Eは♠が1枚で17hcpあり、やや不満ながら2♣をリビッドする。これに対して、Wは4♥をビッドするのが普通。
ここでEがスラムトライをするか、4♥をパスするかの判断は難しい。
尚、1♥に対する3NTが♥4枚サポートと13~15hcpを示すConvention

N	E	S	W
	1♥	P	3NT
P	(4♣	P	4♦
P	4NT	P	5♥
P	6♥		end

を使用している場合(右)は、3NTをビッドし、① Eが直ぐ4NTでスラムトライするか、② 4♣をビッドしWの4♦を聞いた上でスラムトライするかになり、スラムには行きやすい(この場合Wが強い5枚の♠をビッドしないのは気になるが...)。
実際にペアー戦でのコントラクトは 6♥と4♥が 22:12であった。
6♥/E OL: ♥2 Declarerで確実なウイナーは♥5♠2♦でダミーで♣をラフ1回するとしても、♣AがNにあることを期待せねばならず、♠の5枚目を勝つにはハンドで2回ラフすることが必要(♠Qが4枚の方にある時)なのでダミーへのエントリーに注意が必要。しかし、このハンドは♠の3巡目を1回ラフすると♠Qが出るので♠の4、5枚目が勝てるようになり6メイクは固い。
OL: ♣Qの時は最初に♣Aが出るので♣Kが勝てて、♣を2回ダミーでラフ出来るので簡単に6メイクになる。
OLが♣Qの時はDeclarerを助け、♥2の時は悩ませる!

No. 3

♠ A10864	♠ QJ973
♥ 93	♥ K87
♦ 86	♦ 43
♣ Q854	♣ KJ10

N			
W		E	
S			

♠ K2	♠ QJ973
♥ QJ1042	♥ K87
♦ AJ107	♦ 43
♣ A7	♣ KJ10

♠ 5	♠ QJ973
♥ A65	♥ K87
♦ KQ952	♦ 43
♣ 9632	♣ KJ10

N	E	S	W
		P	1♥
P	1♠	2♦	2NT
P	3NT		end

N	E	S	W
		P	1♥
P	1♠	P	2♦
P	3♥	P	4♥
			end

Eの1♠レスポンスにSが2♦のOCをした時は、Wは2NTのリビッドをして、Eが3NTにレイズする。
一方、SがOCをしなかった時は、Wが2♦をビッドして、Eの3♥のプリファランス(Invitation)に、4♥をビッド。
3NT/W OL: ♦8→♦3→♦Q→♦7 DeclarerはSからのリードは歓迎なので、OLには♦Aをダックする。この後Sから何が出されても、♠A♥Aに負けるだけで4メイクする。
4♥/W OL: ♠A→♠3→♠5→♠2 続いて♠6が出されSがラフし、♦Kをリターンすると1ダウンになる。Declarerで考えると、♠Aと♥Aに負けて♥を刈り上げると♦に1個ルーザーが出て4メイク可能なハンドであるが仕方がない。只、Nから♠を続けられても有難くないので、OLの♠Aの下に♠Kを出すプレーはどうか?(相手を紛らわせるdeceptiveプレー)Nが♣を出せば♣で3個勝てるようになり、♦を出してくれば1度ダックして3巡目をダミーでラフしてから♥を集めれば4メイク出来る。
OLが♠A以外の時は4♥のメイクの可能性が高まる。
18テーブルのペアー戦で 4♥/W メイク 7T;ダウン 7Tと拮抗し、3NTは2T、その他2Tであった。

No. 4

♠ K6
♥ AJ
♦ 9632
♣ A9862

♠ J97
♥ K754
♦ J104
♣ 1074

	N		
W	+	E	
	S		

♠ A10842
♥ Q83
♦ KQ7
♣ Q5

♠ Q53
♥ 10962
♦ A85
♣ KJ3

N E S W
P P 1♣ X 2♣
P end

N E S W
P P 1♣ X P
2♣ P 3♣ end
(P P 2♣
P P P(3♣) end)

Both Vulで様々なビッドが考えられる。パートスコアのハンドなので、N E S W
2ダウンにならない様にする。Nが1♣でOP(メジャーが短く良いハンドとは P
いえないのでパスもあり得る)すると、Eは1♠のOCを掛ける。これに対して 1♣ 1♠ 1NT P
Sは♥4枚あるのでネガティブダブルを掛けるか、1NTをビッドする。ダブル P P end
には弱いハンドながら♠が3枚あるWが2♣をビッドするかパスするかは (2♣ P P
ペアーの考え方による(Both Vulであり微妙な判断)。1NTにはWはパス P end)
が普通。SのダブルにWがパスした時にNのリビッドは難しい。2♣か1NT
をリビッドすることになる。2♣にはSが3♣にレイズし、若し、Sが2♣にパスすればWが2♣をビッドする
可能性が高い。一方、SのダブルにWが直ぐ2♣をビッドすればそのまま決まりそうである。
2♣/E OL: ♣K 続いて♣3(♣QがEにある可能性に備えて)にNは♣Aで勝ち♣6を返す。Declarer
考えてルーザーは直接のダミーへのエントリーが無いので♣2♣2♦A♥Aは避けられず、♥で更にルーザー
が出る可能性あり、メイクは望み薄い。♠、♥をdefense側からリードさせたいが・・・。

3♣/N OL: ♦K ♦Aで勝ち、♣A♣Kと勝ち、♣Qを残したまま♣Aを追い出す予定でプレーを組み立てると、♣Qが出て♣で5個
勝てるようになり3メイクする。31テーブルのペアー戦で 3♣X/S 1D 2T; 2♣/E 2M 6T, 1D 6T, 2D 2T; 3♣/N 3-4M
8T; 2NT/S 2M 2T その他 5Tであった。2♣は正しくdefenseすれば1ダウンする。ペアー戦では色々なスコアが出るの
で気楽であるが、チーム戦では思わぬ大差が出るのでビッド、defenseプレー共慎重さが必要なボードである。1NT/Sは2メイク。

No. 5

♠ 8
♥ KJ8752
♦ K8
♣ K764

♠ AK106
♥ 106
♦ A542
♣ A102

	N		
W		E	
	S		

♠ 97432
♥ 94
♦ 73
♣ QJ85

♠ QJ5
♥ AQ3
♦ QJ1096
♣ 93

N E S W
P P 1♦ X
XX 1♠ P P
2♥ P 3♥ P
4♥ end

N E S W
1♥ P 3♥ P
4♥(P) end

N E S W
2♥ P P X
P 2♣ 3♥ 3♣
end
(4♥ P P X)

DealerのNのハンドは♥6枚と10hcpあり、Weak2♥オープンには強過ぎるのでパスが普通かもしれ
ない。但し、最近ではRule of 20を適用して1♥でオープンする人がある(Aがないハンドで薦められ
ない)。Sが1♦でオープンした時はWがダブル、Nでリダブルの後、4♥/Nになる可能性が高い。
一方、Nが1♥でオープンするとSの3♥InvitationにNで4♥をビッドするか、パスするか悩ましい。
NがWeak2♥でオープンした時はWのダブルで♥と♠の競り合いになり、3♣/Eになりそうである。
4♥/N OL: ♣Q Wは♣Aでオーバーテイクし、♠Kを勝ち、♣10を返す。Declarerはメイクには3A
しか負けれないので、♣を2回ダミーでラフするプレーをする。♣Kで勝ち♣を出してダミーの♥3でラフ、
♠Qを出しハンドでラフする。♣7を出してダミーの♥Aでラフする。次いで♥Qを勝ち、♠を出してハンドで
ラフして、♥を集めて♦Aを追い出せば4メイクする(Wが3巡目に♥をリターンして来ても♣をダミーで2回
ラフするプレーをする)。

3♣/E OL ♥A 続いて♥Q(Eの♥は2枚と推定される)。次に♦Qを出す。Declarerはハンドへの
エントリーがないので♥2♣1♦1♠のルーザーが避けられず1ダウンになる。チーム戦16テーブルで
5♥X/N 1D 1T; 4♥X/N 4M 4T; 4♥/N 4M 3T; 2-3♥/N 4~5M 4T; 4♣/S 2D
1T; 3♣/E 1D 3T結果的にはビッドではNSで4♣まで競るのが良いが難しい。

No. 6

♠ J9532
♥ 52
♦ J1084
♣ J6

♠ 864
♥ K109
♦ AQ72
♣ Q82

	N		
W	-	E	
	S		

♠ AQ
♥ AQJ873
♦ 965
♣ 104

♠ K107
♥ 64
♦ K3
♣ AK9753

N E S W
P 1♥ 2♣ 3♥
P 4♥ end
(3♥ Invitationの時)

N E S W
P 1♥ 2♣ 3♣
P 4♥ end

Eの1♥にSの2♣OCが掛かるので、3♥のInvitationをビッドするか、3♣のCue-bidで♣3枚以上のサポ
ートとInvitation以上のハンドを示す。これに対してEは4♥をビッドする。
4♥/E OL: ♣K→♣4→♣J→♣4 Nの♣は1~2枚であるのでEの♣は2~3枚である。次に♣Aを
出すとN、E共にフォローして2-2であることが判明した。次にSは何をリードすべきか？ダミーの♣Qを殺
すべく、♣をリードしてNにラフさせる(Eにオーバーラフされても損にはならない)。Declarerで考えると♥6
個と♠A♦Aは確実だが、4メイクには♠Kと♦Kのフィネスが共に成功することが必要……。プレー方針は？
♣の3巡目のNのラフにハンドでオーバーラフし、♥を2巡集めハンドからダミーに向けて♦5を出し、ダミー
から♦Qを出す！これが勝った時、♠を引いて♠Kのフィネスを試みるのも1つの選択である。ただもう一
つの可能性として、Sの♦はKX or K10Xの2~3枚(Sに♣6枚♥2枚あったので♦は4枚ないと考えられる)
とした場合、♦Qで勝った後、♦2を引いてハンドから♦9を出すのが面白い。Sが勝った時にリードすべき
スーツがない。♦が3枚の時は♦を出せるがこの場合はダミーの♦の4枚目がウイナーになり、ハンドの♠Qがディスカード出来て4メイ
ク。♣を出せばラフ&ディスカードとなる。但し、最初ダミーから♦5が引かれた時、Sが♦Kを出すことでこのスローインを避けること
が出来ると！(SとしてはNに♦JXXXを期待するプレー)。プレーでの攻防は奥が深く、最高のdefenseは難しい。

No. 7

♠ AKQ873
♥ A1093
♦ J
♣ 108

♠ 62
♥ K84
♦ Q1087
♣ J5

♠ J1095
♥ J2
♦ AK93
♣ K73

N			
W	+	E	
	S		

♠ 4
♥ Q765
♦ 52
♣ AQ9642

N E S W
P P
1♠ P 1NT P
2♥ P 3♥ P
4♥ end

N E S W
P P
1♠ P 1NT P
2♠ P P end

Sの1NT(Forcing or Non-Forcingに拘わらず)のレスポンスにNはリビッドでは、2♠(左下)より2♥(左上)が良いと考えます。Sの3♥レイズに4♥にレイズするかパスするか判断は微妙であるが、**絵札が♠と♥に集中している**ので4♥にレイズするのが良い。

4♥/N OL: ♦K→♦2→♦8→♦J Eは♦Aを続ける。Declarerで考えると、♠が6個勝てるなら(3-3の分かれ)、♥で1ルーザーですむか、♣Kのフィネスが効けば4メイクする。しかし、♠が4-2の分かれ(確率約47%)なら**ハンドへのエントリーが少ないので問題が生じる**。そこで、エントリー確保のため、**第2トリックの♦の時にラフせずに♣8を捨てる!**Eが♦を続けられればダミーでラフし、♠4を引いて、ハンドの♠Aで勝ち♠3を出してダミーでラフする。この後、♥の集め方はゲスの問題で1ルーザーに出来るかどうかで4メイクの成否が決まる。♥は3-2の分かれとして♥Kと♥JがE-Wに**どんな形であるかを推定して**プレーする。推定が外れればダウンやむなし。幸運を祈る!

20テーブルのペアー戦で 4♥/N 15T(4M 6T;1D 5T;2D 4T): 2♥/N 3T(4M 2T 2M 1T) : 2♠/N 2T (4M) であり、3♥で止まったペアーは無かった。

No. 8

♠ 972
♥ J9
♦ 107642
♣ K98

♠ Q1084
♥ Q1054
♦ 5
♣ QJ102

♠ —
♥ K87632
♦ AK983
♣ 63

N			
W	X	E	
	S		

♠ AKJ653
♥ A
♦ QJ
♣ A754

N E S W
P P
P 1♥ X 2♥
P P 2♠ 3♥
3♠ 4♥ P end
(4♠ 5♥)
P P X end)

強いハンドのSはテイクアウトダブルの後、1人でも3♠までビッドしたいハンドであるので♥と♠の競り合いになり4♥/E or 4♠/S で取まるか、絵札の少ないハンドでオープンしたEはWにも多くの絵札は期待できないので4♠のメイクは固いと考えて5♥をビッドした場合、これにはSはダブルを掛けることになる。どちらもNonVulながらビッドの駆け引きが難しい。4♠/SにWがダブルを掛けることもある。

4♥/E OL: ♠K Declarerはハンドでラフ。♥が3-0の分かれでなければルーザーは♥1と♣2で4メイクは固いと考えられるので、♥を集め♣で2回負に行き4メイク。

4♠/S OL: ♥4(♥4枚を示す) or ♥Q Declarerはハンドの♥Aで勝ち、♠Aを勝つと、Eがショウアウトして、♠が4-0の分かれで2ルーザー出ることが判明する。4メイクはあきらめて、♠Kを勝ち、♦Jを出して負に行く! 正確なディフェンスなら2ダウンだが、1ダウンですむ可能性もある。

20テーブルのペアー戦のコントラクトは様々であった
5♠X/S 1T; 4♠X/S 2T; 4♠/S 5T; 3♠/S 2T; 5♥X/E 4T; 5♥/E 2T; 4♥X/E 2T; 4♥/E 2T
4♥はメイクするので、N-Sとしては4♠までビッドするのが正解で、E-Wの5♥にはダブルを掛けるのが良い。

No. 9

♠ 9542
♥ 87
♦ QJ987
♣ 65

♠ Q
♥ KJ96
♦ AK62
♣ 10872

♠ AK76
♥ A1032
♦ —
♣ AQJ94

N			
W		E	
	S		

♠ J1083
♥ Q54
♦ 10543
♣ K3

N E S W
P 1♣ P 1♥
P 4♥ P 4NT
P 5♦ P 6♥
end

N E S W
P 1♣ P 1♥
P 4♦ P 4NT
P 5♦ P 6♥
end

EはWの1♥レスポンスに対して4♥のリビッドするか、4♦の**オープナーのSplinter bid**をする(4枚サポートがあり♦が1枚かポイドで4♥をビッドする強さ(19hcp~)があることを示す)かである。何れにしても6♥には到達したい。

6♥/W OL: ♦Q Declarerで考えると♣KがNにあるか、♥の両ウエイフィネスを当てて♥Qを捕まれば6メイクする。♥Qのフィネスをどちらの方向にすべきかは情報は無いが、OLをハンドの♦Aで勝ち、♥6を出してダミーの♥AIに入り、♥10を引いてフィネスをするのが自然である。このハンドはこれが成功して6メイク出来る。♥でルーザーが出た時は♣Kのフィネスを試みる予定。

OL: ♣6 Declarerとしては最初に♣A、♣Qのどちらを出すかのプレーの決断を迫られる。♣6が♣Kの下打ちとは考え難く、シングルトンの可能性があるため、♣Aを出して、♥Qの両ウエイフィネスを当てることに賭けるべきである。

38テーブルのペアー戦 7♥/W 3T(D 3T) :6♥/W 21T(6M 13T;1D 8T) :
4/5♥/W 10T:5♣/E 2T(6M) その他 2Tであった。

なお、ビッドしたペアーは無かったが、6♣/Wは♥Qのフィネスが必要なく確実にメイク出来る。

No. 10

♠ 109873
♥ QJ8
♦ 62
♣ KJ3

♠ J4
♥ A97
♦ J974
♣ Q876

N	
W	E
S	

♠ KQ2
♥ K1053
♦ AK53
♣ A9

♠ A65
♥ 642
♦ Q108
♣ 10542

N E S W Eの1♦に対する、Wの1NTレスポンスに19hcpあるバランスハンドのEは3NTをビッドするのが普通。
1♦ P 1NT 3NT/W OL: ♠10 Sは♠Aで勝ち、♠6をリターン。Declarerのウイナーは♠2♥2♦2♣1の
P 3NT end 7個は確実で、♦が3-2の分かれなら♦の4枚目が勝てるが、3メイクにはあと1個不足。
狙い目は♥が3-3の分かれで4枚目を勝つか、或いは♣KがSにあることに賭けることである。

何れにしても♥と♦で各1回負ける必要があるので、♠が5-3の分かれの時にダウンの可能性はあるが仕方なし。
そこで、♠の2巡目をダミーで勝ち、♥を出してハンドの♥Aに入り、♥7を出す。Nから♥Jが出てダミーの♥Kで勝つ。♥5を出し♥Qに
負ければ♥の4枚目が勝てる。Nからの♠をダミーの♣Kで勝ち、♥10を勝ってから、♦A♦Kを勝って♦3を出して負けに行く。これが
NSドチラに入るかにより明暗が分かれる(♠が4-4の分かれなら良いが、5-3の分かれの時に、5枚の方に入ると1ダウン)。
このハンドは♦と♥をドチラを先に負に行くかでも明暗が分かれる可能性があるが、♦を先に負けた場合でも♦を4枚勝った時のNの
ディスカードが難しいので、3メイクになる可能性がある。プレーの順序で結果に差が出て仕方がないが、明確な意図を持った
プレーを進めるべきである(不成功でも納得できる)。

No. 11

♠ J96
♥ —
♦ Q62
♣ K1097632

♠ 103
♥ K1095
♦ AJ753
♣ Q5

N		
W	X	E
S		

♠ A82
♥ J8632
♦ 984
♣ A4

♠ KQ754
♥ AQ74
♦ K10
♣ J8

N E S W Sの3♠リビッドにNがパスするか4♠にレイズするかは、意見が分かれる。Nのハンドは♠3枚サポート
と6hcpでボイドがあるハンドなので、判断が難しい。
4♠/S OL: ♥10 ダミーから♣2を捨てて、ハンドの♥Qで勝つ。Declarerとしては♠♦♣の3Aが
2♠ P 3♠ P 無いので、♥を2回ダミーでラフしてもメイクの見通しは立たない。第2トリックでは、♥4を出してダミー
P(4♠) end でラフし、♦2を引いてハンドから♦Kを出す。Wは♦Aで勝ち、♠3を出して来てEが♠Aで勝ち♠8を出し
てくる。Declarerは♠K♠Qを取り♣Jを出す。Wが♣Qをカバーすると♣K→♣Aとなり、幸運にもダミー

の♣がエスタブリッシュして4メイクする。♣JにWが♣5を出した時は♠AはEにあると考えて(ダミーの長い♣を見てWに♠Aがある
時にダックするとは考え難い)、♣Jをそのまま流すのが面白い。そうすると、このハンドは4メイクになる。
OL: ♦A 続いて♠3の時は♠6→♠A→♠4、♠2のリターンをハンドで勝ち、♥4を出してダミーでラフした後、♦Kでハンドに戻り、
♠を集めてから♣Jを出す。上記と同様のプレーになるが、Eで♠Aをダックすれば♥で2ルーザー出て2ダウンになる。
OL: ♠3 上記と同様であるが、♥をダミーでラフしたあと、ダミーから♦を引いてSの♦KにWが♦Aで勝った時に、Wが何を出すか
が問題。♦でダミーに入れておけば良いが、♣ or ♥を出す4メイクの可能性もある。
38テーブルのペア戦 4♠/N 15T (4M 8T; 1D 2T; 2D 3T; 3D 2T): 3♠/N 7T(4M 2T; 3M 2T; 1D 1T;
2D 1T) : 5♣/N 3T(5M 1T; 1D 2T) : 3/4♣/N 2T(4M 2T) : 2♠/S 7T であった。
3~5♣/NがコントラクトになったのはSが1NTでオープンした為と推定される。

No. 12

♠ 10
♥ Q108
♦ K109764
♣ A65

♠ A86432
♥ 6
♦ 53
♣ KJ82

N		
W		E
S		

♠ K95
♥ K532
♦ Q82
♣ Q104

♠ QJ7
♥ AJ974
♦ AJ
♣ 973

N E S W 3rd ハンドのEは10hcpであるが超バランスハンドであるのでパスが普通であるが、人によっては
1♣でオープンする人がある(余り推奨出来ない)。Eがパスした時はSの1♥OPに対しても、Wで1♠
P 1♣ 1♥ 1♠ のOCをする人とならない人がある。OCがあった時はNは2♥、3♥ or 2♠(Cue-bid)をビッドする。
2♥ P P 2♠ OCがない時は、NはDrury 2♣でレスポンスし、何れにしても、3~4♥になる。SはJが3枚ある
P P 3♥ end 13hcpのハンドを如何に評価するかである。チーム戦の時は4♥までビッドすることが多いと考える。
4♥/S OL: ♠A(Eは♠9) 続いて♠4 or ♣2(ダミーの長い♥を生かす

ためのダミーへのエントリーを潰す意図あり)。Wから♦は絶対に触らない!
N E S W 若し、Eに♦A(AQ)ある時は何れ取れる。♣が2ルーザーになる可能性高く、
P P 1♥ P ♠1♥1のルーザーが出る時はダウンになる。Wが♦を出す4メイク。
P P 1♥ P 尚、3♠/Wは1ダウンが普通(ルーザー♠1♥1♦2♣1)。
3♥ (3♠) 4♥ end 2♣ P 2♦ P 24テーブルのチーム戦で4♥/S 8T(M6T、D2T): 3♥/S 4T; 2♥/S 3T;
(2♠) 3♥ P P(4♥) end 4♠X/W 4T(-500); 3♠/W 3T その他2Tであった。

No. 13

♠ KJ106
♥ KJ53
♦ 106
♣ 1073

♠ AQ843 ♠ 75
♥ 8 ♥ Q97
♦ AKJ9 ♦ Q85
♣ J65 ♣ AKQ82

	N		
	W	+	E
		S	

♠ 92
♥ A10642
♦ 7432
♣ 94

N E S W
P 1♣ P 1♠
P 1NT P 3NT
end

N E S W
P 1♣ P 1♠
P 1NT P 2♦
P 2♠ P 4♣

N E S W
P 1♣ P 1♠
P 1NT P 2♣
P 2♦ P 3NT
end

Eの1NTリビッドに5-1-4-3ブレイクで15hcpの強いハンドのWが何をビッドするか？
3NT、2♦(Forcing) or 2♣(Check-back Stayman)が普通。これに対してEは3NTにはパス、
2♦には2♠をビッドしてWが4♠にレイズ、2♣には2♦をビッドWが3NTをビッドすることになりそうである。
3NT/E OL: ♥4→♥8→♥K→♥7 Nは♥3(original 4th best)をリターンするのが普通。
Declarerの♥9を♥10で勝ったSはNの♥は4枚の可能性が高い(♥5が出ていない)と考えて♥Aを
勝つ。この時Nはブロックを防止するために♥Jを捨てなければいけない(♥が4441でも♥Jを保持
する意味がない)。Eが♥4、5枚目を勝って1ダウンとなる。OLが♥以外か♥Jでブロックすると
3~4メイクになる。
4♠/W OLの選択は難しいが♠で2勝見込めるので♣3? Sに♥のアナー1枚を期待して♥3を
リードすることも考えられる(Wの♥は1~2枚の可能性が高い)。4♠は1~2ダウンになる。
18テーブルのペアー戦で 3NT/E 13T(3/4M 7T、1D 6T);
4♠/W 3T(1D 1T, 2D 2T); 2-3♦/W 4M 2T であった。3NTメイクが意外に多かった。
5♣/Eはダミ-で♥を1回ラフすれば5メイク可能。

No. 14

♠ 43
♥ KJ74
♦ 64
♣ A9654

♠ J9865 ♠ K107
♥ AQ985 ♥ 103
♦ J7 ♦ K10985
♣ 8 ♣ Q73

	N		
	W	X	E
		S	

♠ AQ2
♥ 62
♦ AQ32
♣ KJ102

N E S W
P 1NT P
2♣ P 2♦ P
2NT P P(3NT)
end

N E S W
P 1NT 2♦
P 2♠ end

N E S W
P 1NT 2♦
P 1NT 2♦
3♣ 3♠ 4♣ P
P(5♣) end

Sが1NTオープンしWがパスしてNが2♣のStayman経由で2NTを
リビッドした時、Sでパスするか3NTをビッドするかは微妙な判断
(16hcpであるが5枚スツがないのでパスもあり得る)
Sの1NT(or1♦)オープンにWが2♦をビッド(右上下:メジャー5-5を
示すOC)した場合、NがパスするとEが2♠をビッドしてそのまま決
まる可能性が高い。一方、Nが3♣をビッドするとEが3♠まで競っても、
Sが4♠をビッドし、場合によってはNが5♣までビッドする可能性もある。
3NT/S OL: ♥8 ダミ-から♥Jを出すこれで勝てる。Declarerから見て♣で5勝出来れば
3メイクの可能性が高いので、ダミ-から♣4を引いてハンドの♠Kで勝ち、♣Jを出すWがショウ
アウトするがそのまま流しEの♣Qに負ける。Eが♥10を出してくれば♥Kが勝てるので、♣を3個 P(5♣) end
勝った後、ダミ-から♦か♠を引いてハンドからQを出すこのハンドでは♦♠ドラでも勝てるので3メイクする。
OL: ♠6の場合は♠で2個勝てるが、♥をハンドから出すタイミングが難しく、ダウンする可能性が高い。
5♣/N OL: ♥10 Wは♥Aで勝ち、♥8を返す。Declarerはハンドから♥Jを出すこれで勝つ。♠K♠Aと勝って♣Qを残した
まま、ハンドから♠を出してダミ-から♠Qを出すこれで勝てるので、♠Aを取り、♠ラフでハンドに戻り、♦を出すプレーで5メイク
する。 3♠/E ♠2♥1♦2♣1のルーザ-があるので1~2ダウンになる。プレーによっては3ダウンの可能性もあり。

No. 15

♠ KQ10973
♥ 92
♦ 7
♣ A1085

♠ — ♠ AJ4
♥ AJ10853 ♥ KQ74
♦ QJ62 ♦ AK84
♣ K43 ♣ J2

	N		
	W		E
		S	

♠ 8652
♥ 6
♦ 10953
♣ Q976

N E S W
P 1♥
2♠ 3♠ P 4♥
P 4NT P 5♣
P 6♥ end
end

W ♠ — E ♠ AJ
♣ K43 ♣ J

Wの1♥にNは2♣のジャンプOCをする。これに♥4枚サポートと18hcpの強いハンドのEは3♣の
Cue-bidをする。Wの4♥に4NTでA1枚を確認して6♥をビッドする。
6♥/W OL: ♠K Declarerのプレー方針は? ウイナーは♥6♠1♦4の11個あり、メイクにはあと1個
必要。 ♠AがSにあることに賭ける? しかし、Nが2♣をビッドしているので♠Aを持っている可能性が
高い?(少なくとも♣Qは有る)。 ♦4-4なので♣のルーザ-を処理できない。何か良い方法は無いか?
そこでOLの♠Kはハンドでラフし、ダミ-に♠AJを残して、♥5枚を勝ち(ダミ-から♣1枚捨てる)、次に
♦4枚をダミ-で終わる様に勝つと(この間のDefenseのでディスクードには注意、特にNから出る♠と♣の
枚数)、E-Wの最後の3枚は左下の様になる。
この時、Nに♠Aがある場合は♠QX ♠Aになっているはず(♠Qを裸に出来ない)。ここで
ダミ-から♣Jを出してそのまま流せばNの♠Aに負けるが、♠を出さざるを得ず6メイクになる。
一方、♠AがSにある場合に、Sが最後の3枚を♠AXXにする可能性は少ないと考えて(♠が1枚
は残っている)、ダミ-から♣Jを引くと♠Aが飛び出しそうである。♠Aが出なければそのまま流す。
Nの♣Qに負けても6メイクは安泰。